

美しい多摩川フォーラム・平成27年度総会議事録

- ・日 時 : 平成27年5月30日(土)9:30~11:30
- ・会 場 : フォレストイン・昭和館 2階 シルバンホール(昭島市)
- ・来場者 : 会長、副会長、運営委員、監事、顧問、アドバイザー、一般会員等

(司会・渡辺) 開会までまだ少々お時間がございますが、事務局より幾つかご案内をさせていただきます。本日の総会の次第ですが、お手元の資料にもありますように、細野会長の開会挨拶の後、来賓の方のご挨拶があります。そのあと、経過報告をビデオ放映にてご覧いただき、議事に入りますが、第1号議案では平成26年度事業決算(案)、第2号議案では平成27年度事業計画・同予算(案)、第3号議案では運営委員・監事の選任(案)についてご協議を頂きます。後半は、臨時運営委員会を挟んで、三多摩青年合唱団による「多摩川の歌」合唱、結果報告、意見交換を予定しており、終了は11時半頃となります。なお、広報用ビデオを撮影させていただきますので、あらかじめご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

1. 開 会

(司会・渡辺) 只今より、美しい多摩川フォーラム・平成27年度総会を開会致します。それでは、総会開会に当たり、事務局よりご報告させていただきます。

(事務局・及川) フォーラム事務局の及川と申します。どうぞよろしくお願い致します。本日は、会員数1541会員中、委任状による代理人出席を含め246名の会員が出席され、書面議決書提出の会員数を加えて、合計862名ということで、当フォーラムの規約第12条2項により、本総会は成立しておりますことを、まずもってご報告申し上げます。それでは、細野会長に開会のご挨拶をよろしくお願い致します。

2. 会長挨拶

(細野会長) 皆さん、おはようございます。すがすがしい土曜の朝です。今日は少し堅苦しい議事になりますが、歌の披露やビデオ放映もありますので、楽しんでいただきたいと思います。今日は、各界のトップの方にお越しいただいています。青梅市の竹内市長や東京都からもお越しいただきました。有り難うございます。当フォーラムは、平成19年の7月に設立され、9年目を迎えます。先ほど事務局からも話がありましたが、会員数が1541名ということで、これもひとえに皆様のご支援とご協力の賜物です。また、多摩川流域のほとんどの自治体さんが当フォーラムにご加入いただいております、大変有り難いと思っております。当フォーラムでは、産官学の連携で、年間で50を超える事業を行っています。多摩地域の活性化のために、ますます皆様のお力をお借りしたいと思っております。

皆さんにお配りした資料の中に、「東北・夢の桜街道」の資料も入っていると思いますが、東日本大震災を受け、早速私たちは東北6県に呼び掛け、当フォーラムでの活動実績を活かした東北・夢の桜街道推進協議会を立ち上げました。「多摩川夢の桜街道」は、我々の活動のシンボルですが、日本人が愛する桜をシンボルに、東北の復興を応援しようと設立されました。今後10年活動を続けていく予定ですが、我々の本拠地は多摩川、あるいは多摩です。多摩の100年を考えるとという壮大な夢を持っています。今年で9年目ですから、先はまだまだ長いです。我々の使命は、美しい多摩地域の自然、魅力、伝統、芸術、文化を次世代に繋げていくことです。皆様の力をお借りしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

3. 来賓挨拶

(司会) どうも有り難うございました。それでは、ご来賓の皆様からご挨拶を頂戴したいと存じます。まず初めに、東京都産業労働局観光部振興課長・若林和彦様に、ご挨拶をお願い致します。

(若林和彦様) 東京都産業労働局観光部振興課長の若林と申します。本来であれば、観光部長の杉崎がご挨拶を申し上げるところでございますが、公務により欠席となりましたので、私からご挨拶をさせていただきます。まずは美しい多摩川フォーラムの総会が開催されますこと、心からお喜び申し上げます。会発足以来、各方面から地域づくり団体として高い信頼を得ている本フォーラムですが、これは、細野会長を中心に、多摩川流域の地域の皆様が、息の長い取り組みを着実に展開している結果だと認識しております。本日の総会では、本年度の事業計画について審議が予定されていますが、本年度の活動も、今後の多摩地域全体の活性化に繋がる取り組みとなることを期待しております。さて、2020年東京オリンピック・パラリンピックでは、外国人旅行者が大幅に増加することが予想されています。都内各地域においても、観光振興に対する機運が盛り上がりを見せています。東京都では、2020年のさらに先を見据え、地域の観光振興の推進にあたっては、行政や観光協会、商工団体、農水団体、NPO法人など、地域で活躍されている皆様が、業界の枠を超えて協働する体制を構築することが必要不可欠だと考えています。それはまさに、美しい多摩川フォーラムの組織体制そのものでありますが、このような地域の皆様の力を結集し、連携して地域振興を進めて行く動きが、都内全域でますます活性化していくことを期待しております。最後になりますが、多摩川フォーラムの皆様の、ますますのご発展と、本日ご出席の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。有り難うございました。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川上流域の自治体を代表して青梅市長・竹内俊夫様に、ご挨拶をお願い致します。

(竹内俊夫様) 皆さんおはようございます。ただいまご紹介いただきました、青梅市長の竹内でございます。本日は、美しい多摩川フォーラムの平成27年度の総会が盛会に開かれ、大変おめでとうございます。私は青梅生まれの青梅育ちで、小学校4年から中学校1年まで、“河原”と名のつ

く地元のそろばん塾「琴河原学園」に週3～4日ほど通っていました。また、小学校5年から中学校2年までは、多摩川の河原で泳いだり釣りをしたり、時にはさつまいもを食べたりしていました。それが夏休みの日課でした。多摩川と親しんで育った人間です。その後も、土木を専攻し、技術屋として建設省で仕事をしましたので、河川とはそれなりに付き合っていました。そんな中で市長をやっておりますが、青梅市では、毎年5月連休明けに、多摩川沿いの釜の淵公園で生涯学習の一環として「釜の淵新緑祭」という文化行事を開催しております。また青梅市では、景観条例を作り、景観保全、育成に努めており、中でも地区を指定して重点的にやっているのは、青梅駅周辺の旧青梅街道、もう一つは多摩川沿いの地域です。このたび地域指定を行い、多摩川の外形、周辺の家屋についても景観に配慮して多摩川の景観をより良くするように指定し、保全に努めています。今年の2月には、多摩川フォーラムさんや地元の自治会と一緒に、多摩川沿いの長淵地区のプール脇の駐車場に桜を10本植えました。多摩川フォーラムさんのお力を借りて、多摩川沿いの景観形成に努めています。多摩川フォーラムの皆さんは、多摩川をシンボルに掲げ、多摩川水系の流域全体の地域が連携協働し、地域の経済、環境、教育文化を推進する多くの活動、また、先ほどお話がありました東北地方の復興に向けて協働して取り組まれているということで、心から敬意を表します。青梅市としましても、このフォーラムをはじめ、各団体と連携して美しい多摩川の魅力を高められるよう、努力して参りたいと思います。結びになりますが、多摩川フォーラムのますますのご発展、ご活躍をご祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川下流域の自治体を代表して大田区都市基盤整備部長・荒井昭二様に、ご挨拶をお願い致します。

(荒井昭二様) 皆さんおはようございます。大田区は、多摩川の一番下流にございます。本来であれば、大田区長がご挨拶に来て、色々な想いを語る予定でしたが、公務のため、私が代わりにご挨拶を申し上げます。下流の多摩川は、どんどんきれいになってきています。下流には、羽田空港がございます。羽田空港には、日本中の皆さん、また海外からもお客様がいらっしゃいます。降りた時に、最初に目にする大空間が、東京湾と多摩川です。多摩川は魅力溢れる空間だと私も思っております。区長は、日頃から国際化と言っており、区が国際都市になるんだとお話をした時、多摩川が魅力あることが大切だと我々も思っています。大田区では、2つの水辺の楽校、「うのき水辺の楽校」と「羽田水辺の楽校」が活動しています。ボートを楽しむ会の方々も日々活動し、美しい多摩川を作っています。河口では、しじみが沢山採れます。漁はできませんが、皆さんが自由に採ることができます。しじみが増えるということは、水がきれいになっている証拠です。先ほど、青梅市長さんがおっしゃいましたが、私も世田谷に生まれ、子どもの頃はヨツデという道具を持って河原をガシャガシャして、魚やエビを採った覚えがございます。上流と中流、下流の自治体同士の連携も必要です。また、皆様方の活躍のように、住民同士の連携も必要だと思います。これからも、下流域では、美しく魅力のある多摩川を作っていきたいと考えておりますので、皆様と

協力しながらやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。最後に、美しい多摩川フォーラムがますます発展、ご活躍できるよう祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

(司会)どうも有り難うございました。続きまして、多摩川中流域の自治体を代表して府中市政策総務部長・町田昌敬様に、ご挨拶をお願い致します。

(町田昌敬様) 皆さん、おはようございます。ご紹介をいただきました、府中市政策総務部長の町田でございます。本来であれば、高野府中市長がこの場でご祝辞を申し上げるところですが、公務のため、祝辞を預かって参りましたので、私から代読させていただきます。「本日は、美しい多摩川フォーラムの平成27年度の総会が、盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また、日頃より、細野会長をはじめ、青梅信用金庫の皆様におかれましては、当フォーラムの運営に多大なご尽力をされていますことに、心から敬意を表しますとともに、感謝を申し上げます。さて、ほぼ2カ月前になりますが、本年3月22日(日)に、府中市中心部にございます大國魂神社において「第6回“美しき桜心の物語”の語り会」が開催されました。当日は、定員の100名を大きく超える200名もの方々のご参加のもと、語り会が開催され、参加者からは多くのお褒めのお言葉をいただきました。市長としても、大変嬉しく思っております。この会の語り部を務められました、当フォーラムの副会長である平野啓子さんですが、府中市のご出身であるというご縁もあり、平成26年度府中市制施行60周年を記念して、武蔵の国府中大使として任命させていただき、府中市の魅力を生内外に発信し、市のイメージアップや観光振興等にお力添えをいただいていたところ、府中市内で当フォーラムのイベントを開催できましたことに、当フォーラムとの並々ならぬご縁を感じたところです。どうも有り難うございました。さて、府中市においても、他の自治体同様、多摩川の河川敷には、サッカー場や野球場、バーベキュー場、緑地等がございます。当市では、その多摩川を市民のみんなできれいにするため、昭和49年から多摩川清掃市民運動を実施しており、今年先週24日(日)に、一般市民や府中市を本拠地とするラグビートップリーグに所属するサントリーサングリアスや、東芝ブレイブルーパスの選手、また、キューピー株式会社中川原工場のキューピーちゃん等にご参加いただき、約5000名の参加のもと、約2.3トンのゴミを収集しました。この他にも、多摩川かぜの道を利用し、毎年11月にはマラソン大会を、2月には駅伝大会を実施するなど、多摩川は府中市民にとって欠かすことのできない憩いの場として親しまれております。また、府中市の総合計画においても、多摩川や公園、外線などの水と緑の空間を、緑道や遊歩道で繋ぎ、市民が憩える、水と緑のネットワークを構築することにより、緑豊かな街づくりを進める事としております。府中市では、緑豊かな街づくりの推進に向け、今後とも多摩川の保全や魅力の発信に務め、多摩川流域の皆様と協力・連携し、美しい多摩川、美しい多摩を目指していきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。結びに、美しい多摩川フォーラムのますますのご発展と皆様方のご健勝を祈念致しまして、ご挨拶とさせていただきます。平成27年5月30日 府中市長・高野律雄」有り難うございました。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川上流域の自治体を代表して羽村市産業環境部長・加藤秀樹様に、ご挨拶をお願い致します。

(加藤秀樹様) 皆さんおはようございます。ただいまご紹介いただきました、羽村市産業環境部長の加藤と申します。本日は、美しい多摩川フォーラム平成27年度総会の開催、おめでとうございます。本来であれば、羽村市長の並木よりご挨拶を申し上げるべきところですが、あいにく他の公務と重なっており、出席できません。非常に残念がっておりました。本日は、市長よりメッセージを預かっておりますので、代読させていただきますこととお許しいただきたいと思っております。「このたびは、平成27年度の総会の開催、心よりお慶び申し上げます。本日は、公務のため、総会を欠席させていただきますことをご容赦いただきたく存じます。多摩川上流域の行政を代表致しまして、ひと言ご挨拶申し上げます。まず、細野会長をはじめとし、青梅信用金庫の皆様におかれましては、このフォーラムの運営に際しまして、日頃より一方ならぬご尽力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。さて、皆様ご案内の通り、美しい多摩川フォーラムには、多摩川を、美しい多摩づくり運動のシンボルに掲げ、民間の会員の皆様と行政の会員とが、それぞれ対等の立場で、経済・環境・教育文化、3つの観点から総合的な取り組みを行っていただいております。私ども羽村市と致しましても、春・夏を中心に、多くの市民や観光客の皆様にお越しいただいている多摩川の羽村堰を、皆様に気持ち良くご利用いただくため、さらには、羽村市のシンボルでもある羽村堰を美しく保つため、市役所職員ボランティアと市内企業による「多摩川クリーンアップデー」を実施しており、この取り組みは、行政と企業との協働という意味でも大きな成果があるものと考えております。また、このような中、話は変わりますが、3月4日に羽村市生涯学習センターゆとろぎにおきまして、美しい多摩川フォーラムの主催で開催されました「多摩の物語の語り会」におきましては、平野啓子副会長が語られた「堤防を守った羽村の消防団の水防活動のお話」は、非常に興味深いものであり、約40年前に多摩川流域に大きな被害を与えた台風による増水に対して、木流し工法を用いて消防団が活躍し、被害を最小限にとどめた話でございました。このような素晴らしい語り会が、今後も続くことにより、皆さんが地域の魅力を再発見して、ますます地域を愛していただけたらと考えております。結びになりますが、美しい多摩川フォーラムの益々のご発展と、ご参会の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。本日は、総会おめでとうございます。羽村市長・並木心」以上です。ありがとうございました。

(司会) どうも有り難うございました。続きまして、多摩川中流域の自治体を代表して狛江市企画財政部市制施行45周年担当理事、政策室長の小川啓二様に、ご挨拶をお願い致します。

(小川啓二様) 皆さんおはようございます。ただいまご紹介いただきました、狛江市の小川と申します。本来であれば、市長の高橋がこちらに来て、ご挨拶させていただくところです。昨年と一昨年については、この場に来させていただき、ご挨拶をさせていただきました。今年もここに来ることを楽しみにしていたのですが、本日は、市を挙げての水防訓練ということで、市の職員が全てそちら

に行っている状況です。やむなく欠席ということで、皆様方にはくれぐれもよろしく伝えてほしいとメッセージを預かってきました。まず、私どもの狛江市ですが、全国の自治体で2番目に面積が小さい市です。従い、多摩川流域では一番小さい自治体ということになり、この場にいらっしゃる皆さんが、狛江市と聞いて何か思い出すことは余り無いのではないかと思います。逆に、私どもは多摩川を非常に強い魅力として考えており、昨年、多摩川の利活用に関する計画を作り、多摩川の利活用を推進していこうと思っております。常々、美しい多摩川フォーラムさんには、細野会長をはじめ、様々な取り組みをされていることに、心から敬意を表しております。また私どもは7月に、多摩川いかだレースを開催していますが、毎年ダニエル副会長にお越しいただき、美しい多摩川フォーラムの皆さんにも応援に来ていただいて盛り上げていただいていることに、心からお礼を申し上げます。先ほども申し上げましたが、私どもは何もございません。多摩川だけでございます。この多摩川について、いかだレースや花火大会を開催しておりますが、非常に重要だと感じていることは、流域の連携ということです。連携については、府中市さん、調布市さん、多摩市さん、日野市さんをはじめ、10の自治体による「多摩川10自治体交流イベントラリー」を本日から開催します。あるいは、12月には、「多摩川流域共同芸能フェスティバル」も開催し、流域の連携の強化しております。こうした活動は、まさに美しい多摩川フォーラムの皆様方の活動と一致する部分が大いだと思いますので、今後も連携させていただきながら、多摩川流域の発展に努めていきたいと思っております。結びに、この美しい多摩川フォーラムがますます発展され、流域の発展に結び付いていくことを祈念するとともに、本日ご参列の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。本日は、このような盛会にお招きいただきまして、誠に有り難うございました。

(司会) どうも有り難うございました。それでは、経過報告に移りたいと思います。事務局から説明をお願い致します。

4. 経過報告 (ビデオ放映)

(事務局) 前にお座りの役員の皆様は、お席をご移動ください。それでは、経過報告をさせていただきます。本日は、フォーラム運動の報告として3本、ビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。なお、お時間の制約もありますので、定例事業等については、お手元資料の右下隅にページをふっておりますので、その3ページをご参照いただければと存じます。

(ビデオ放映)

(事務局) いかがでしたでしょうか。役員の皆様は、お席をご移動ください。本日は、ダニエル・カール副会長にご出席をいただいておりますので、「多摩川いかだレース」に毎回参加されてみてのご感想やフォーラムに期待することなどについて、一言お願いします。

(**ダニエル・カール副会長**) 皆さんおはようございます。さっきビデオに出ていた、美しい多摩川フォーラムの副会長の一人、ダニエル・カールと申します。なぜ、この多摩川フォーラムに参加したくなったかと言いますと、実は私、カリフォルニア南部生まれ育ちなのです。砂漠のような場所です。初めて本物の川を見たのは、日本に来てからです。新幹線に乗って東京から京都まで行きましたが、川が余りにも多いので、数えてみました。しかし、小田原であきらめました。これだけ川に恵まれている国で、日本の右に出る国は無いと思います。私は東北も長かったので、代表的な川は、米代川、間部知川、廣瀬川、最上川、阿武隈川、北上川とあります。それぞれ個性的で素晴らしい川なのですが、何故だか東京だと、隅田川、荒川等の下町の川のイメージが強いのです。これではいけないと思い、多摩川のイメージアップ活動に参加させていただきました。これからも頑張りたいと思います。7月にはいかだレースに参加したいと思います。時間が許せば、上流で子どもたちと一緒に川遊びにも参加したいです。水質調査もそうです。多摩川は楽しいことがいっぱいあるので、これからも応援よろしくお願い致します。

(**事務局**) 有り難うございました。なお、お時間の関係で、ご紹介できなかった活動が多々ありますが、フォーラムのホームページにビデオレターという形で動画をアップしているものもありますので、ぜひご覧くださいませ。以上で経過報告を終わります。

5. 協 議 (議長:細野会長)

(**司会**) これより本日の総会の議事運営に移りたいと思います。その前に、議長を選出する必要がありますが、当フォーラムの規約第12条3項により細野会長にお願いしたいと存じます。それでは細野会長、議長席の方へお進みください。よろしくお願い致します。

(**細野会長**) 細野でございます。それでは、規約によりまして暫らくの間、議長を務めさせていただきます。着席したまま進行させていただきますこととお許し願います。それでは、限られた協議時間ですが、皆様におかれましては、既に議案にお目を通して頂いているものとして議事運営を行わせて頂きたいと思いますので、ご協力のほど、よろしくお願い致します。早速ですが、事務局より第1号議案の説明をお願いします。

(1) 第1号議案:平成26年度事業決算(案)

(**事務局**) 1ページの平成26年度事業決算(案)をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は、予算2,400,000円に対し、実績は2,080,000円となりました。これは、フォーラム会員であるJT(日本たばこ産業株式会社)様が国内業務の大幅スリム化の一環として、今春の立川支店閉鎖に伴い、フォーラムを退会したため、大口の会費収入が得られなかったことによるものです。因みに、本年3月末現在の会員数は、1,541会員となりました。その他の項目では、青梅信用金庫様、東急百貨店様、大田区民有志様、青梅信用金庫関連会社である新日本商事株式会社様による寄付金のほか、青梅市様からの委託金、とうきゅう環境財団様からの助成金等が加わり、

収入合計額は16,064,415円となりました。

一方、支出の部ですが、運営費の事務雑費については、多摩川フォーラム事務局専用のインクジェット・プリンターが故障したことに伴い、昨年7月にキャノンの複合機をリースで導入、今年3月までの資料等印刷費を計上したため、上振れしております。

次に、多摩川酒蔵街道事業は、「多摩川酒蔵街道ワーキング・グループ」の連携先の皆様のご協力によりまして、当初考えていたものより格段に素晴らしいスキームが出来上がったことに伴い、PRチラシをより効果的な両面カラー印刷にしたため、上振れました。上振れた分につきましては、表の下の方にあるパンフレット等制作費300,000円を組替充当しております。次に、桜の植樹費用については、平成26年度第2回運営委員会で1月に新たに承認されたものです。また、東北・夢の桜街道運動として、東北・夢の桜街道推進協議会に1,000,000円を追加で拠出しておりますが、これは、青梅信用金庫の関連会社である新日本商事株式会社様からの寄付金を充当しており、平成26年度第3回運営委員会で3月に承認されたものです。その結果、次期繰越金見込額は、1,919,990円となります。

さて、平成27年度決算の監査ですが、2ページをご覧ください。5月11日に、当フォーラム監事の館盛和様、同じく山崎真義様より、監査を受け、監査報告書を頂いております。それでは、監事を代表して館様にご報告をお願い致します。

(館監事) 只今ご紹介に預かりました監事の館でございます。平成26年度事業決算(案)の監査結果について、山崎監事も同一見解ですので、代表してご報告致します。平成27年5月11日に、平成26年度収支決算書に基づき、帳簿及び証拠書類その他を精査した結果、相違ないと認めます。また、平成26年度活動実績書に基づき、事業の内容について監査した結果、適正であったことを認めます。以上でございます。

(細野会長) はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)…有り難うございました。それでは、賛成多数で第1号議案は可決承認とさせていただきます。では、事務局より第2号議案の説明をお願いします。

(2)第2号議案:平成27年度事業計画・同予算(案)

(事務局) 4ページの平成27年度事業計画・同予算(案)をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は2,100,000円を見込んでおります。青梅信用金庫様より寄付金として8,000,000円、青梅市様より委託金として276,000円、とうきゅう環境財団様より助成金として、多摩の物語について228,000円を予定しております。

一方、支出の部ですが、総会等運営費として3,666,000円、各種活動費として7,714,200円を計上しております。運営費についてですが、平成26年度事務雑費等の中に見込んでいた印刷

費を分離し、印刷費等396,000円、事務雑費等200,000円として計上しております。活動費のうち、新規案件として上がって致しカヤック体験教室については、インストラクター確保難のため、安全面を考慮し、見送ることと致しました。“酒蔵街道”商標登録申請費については、平成 26年度中に追加予算として計上したものの、特許庁の商標登録完了が結果的に4月15日となり、年度をまたぐこととなったため、繰越計上しました。新規事業に当たる「御岳・冬物語」については、事業内容を事務局で検討中です。

なお、東北・夢の桜街道運動として、例年同様、2,000,000円を計上しておりますが、これは東北復興支援事業として、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出します。この結果、次期繰越金は1,143,790円となり、合計では、12,523,990円となります。

5ページは、平成27年度事業計画の主な実施内容、6ページは事業計画の趣旨説明になります。7ページは主な事業活動の予定、8ページは会議&シンポジウムの予定になります。後ほどゆっくりとご覧くださいませ。以上で第2号議案の説明を終わります。

(細野会長)はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。(拍手)…有り難うございました。それでは、賛成多数で第2号議案は可決承認とさせていただきます。では、事務局より第3号議案の説明をお願いします。

(3)第3号議案:運営委員・監事の選任(案)

(事務局)9ページの運営委員・監事の選任(案)をご覧ください。フォーラム規約第7条5項によりまして、現運営委員、監事の皆様におかれましては、本日で任期満了となりますので、議案にあるとおり、今後2年間の任期の運営委員・監事の選任(案)をご提出致します。

なお、新任の運営委員候補の方は、中央大学経済学部教授の藪田雅弘様、明星大学理工学部准教授の藤村和正様、公益財団法人東京市町村自治調査会常務理事の石井恒利様、株式会社東急百貨店執行役員MD企画部部長の萩原正統様、クラブツーリズム株式会社取締役地域交流部長の梶田隆弘様、株式会社はとバス観光バス事業本部定期観光部副部長の江沢伸一様、エーザイ株式会社執行役員知創部部長の高山千弘様、以上の7名様になります。

私からの説明は以上です。

(細野会長)はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。…有り難うございました。それでは、賛成多数で第3号議案は可決承認とさせていただきます。

(事務局)ここで、このたび新たに運営委員・監事に就任されました7名の方に自己紹介をお願いしたいと思います。まず、中央大学経済学部教授の藪田雅弘様です。よろしくお願ひ致します。

(**藪田雅弘様**)中央大学経済学部の藪田です。美しい多摩川フォーラムでの活動をとっても楽しみにしていました。やっていることは、とても楽しいことばかりです。これらをどのように発展・継承していけるか、微力ながら何か出来ればと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(**事務局**)有り難うございました。明星大学理工学部准教授の藤村和正様です。よろしくお願い致します。

(**藤村和正様**)明星大学の藤村と申します。私の専門分野は、河川流域の水の循環を扱う水文学です。水の循環だけではなく、河川流域の人の循環も考えて、地域活性化のために務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

(**事務局**)有り難うございました。公益財団法人東京市町村自治調査会常務理事の石井恒利様ですが、本日は、代理として、総務部総務課長の遠藤文洋様にご出席をいただいておりますので、よろしくお願い致します。

(**石井恒利様**)皆さんおはようございます。東京市町村自治調査会・石井の代理で、遠藤と申します。私自身、多摩川上流の青梅で生まれ育っております。この多摩川を見て感じて、色々な活動に参加していきたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

(**事務局**)有り難うございました。株式会社はとバス観光バス事業本部定期観光部副部長の江沢伸一様です。よろしくお願い致します。

(**江沢伸一様**)株式会社はとバスの江沢と申します。私どもの会社は、多摩川下流部の大田区平和島にございます。本会に参画させていただいてから4年が経ちますが、この会は、官民連携で素晴らしい活動をされています。私どもは観光バスツアーを運営している会社ですが、本会においても、観光振興を中心に、微力ながら発展に努めたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(**事務局**)有り難うございました。エーザイ株式会社執行役員知創部部長の高山千弘様です。よろしくお願い致します。

(**高山千弘様**)エーザイ株式会社知創部の高山でございます。弊社は、定款に、利益を追求することが目的ではなく、社会貢献を目的とすると明確にうたっております。私はそのソーシャル・イノベーションを担当しております、知識創造の略「知創部」を任されております。皆さんご存知のように、きれいな水は、健康と長寿に相関があります。皆様方の取り組みは、そこに関係した、素晴らしい活動だと思います。これからの企業も、単に物を作っていくイノベーションではなく、エコロジカル・イノベーション、そしてハピネス・イノベーションを遂げていかなければならないと思っております。

す。そういった意味で、企業としても、このような素晴らしい活動に積極的に参加していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

(事務局)有り難うございました。株式会社東急百貨店執行役員MD企画部部長の萩原正統様ですが、本日は所用によりご欠席となりますが、メッセージをお預かりしておりますので、ご紹介致します。「本日は業務都合により出席できず誠に恐縮です。ご挨拶前に一言お詫び申し上げます。今回から運営委員会の席に加えさせていただくこととなりました。株式会社東急百貨店の萩原と申します。弊社では、2003年に制定した東急百貨店環境方針に沿い、環境に配慮した商品・サービスの提供や、環境関連法規制の順守などを通し、従業員全体で環境保全に積極的に取り組んで参りました。美しい多摩川フォーラム様とは、弊社の各店舗が比較的多摩川に近い立地にあるご縁から2010年より、「ココエコチャリティ」(ココからはじめる身近なエコ)と題したチャリティ活動を通してお付き合いをさせていただいております。毎年オリジナルチャリティグッズを作成し、弊社のお客様に販売し、収益部分を美しい多摩川フォーラム様の活動に対して寄付をさせていただいております。お蔭様で2010年～2014年までの5回のチャリティで34,160点のグッズを販売しおり、本年も5月28日より関東10店舗にてチャリティをスタートしております。微力ではありますが、この活動を通して皆様と共に美しい多摩川を守る取り組みを継続していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。」

最後に、クラブツーリズム株式会社取締役地域交流部長の梶田隆弘様ですが、本日は所用によりご欠席となりますが、メッセージをお預かりしておりますので、ご紹介致します。「本日、平成27年度総会が盛大に開催されますこと、お喜び申し上げます。運営委員に選任頂きましたクラブツーリズムの梶田でございます。本来であれば、総会の会場にてご挨拶を申し上げるところでございますが、本日は本年福島市で開催しております『ふくしまミュージック花火』の会社行事と重なってしまい、欠席させていただきましたことをお詫び致します。今回から運営委員会の席に加えさせていただくことになりました。私どもクラブツーリズムは、日本全国の各地域において、自然、文化、歴史をキーワードに地域活性化交流事業に非常に力を入れております。多摩川流域の活性化に向けて、皆様と共に取り組んでいくことは、私どもの使命だと思っております。微力ではありますが、頑張っていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。」

(細野会長)はい、有り難うございました。皆様、どうぞよろしくお願い致します。では、事務局よりその他の説明をお願いします。

(4)その他

(事務局)10ページ、美しい多摩川フォーラム事務局体制の拡充・変更等について(案)をご覧ください。当フォーラムの事業活動が拡大する中、フォーラムの運営をより適切かつ円滑に遂行するため、事務局体制の充実・強化を図る必要があることから、当フォーラム事務局内に専務理事、常務理事のポストを新設するというもので、専務理事、常務理事は運営委員と致します。なお、専

務理事、常務理事については、本総会の日から6カ月以内に選任し、運営委員会にお諮りすることでご承認をお願いしたいと存じます。

(細野会長)はい、有り難うございました。何か皆様の方からご疑問の点はありますでしょうか。…もしないようでしたら、如何でしょうか、ご承認頂けますようでしたら、拍手をもってお願い致します。…有り難うございました。それでは、賛成多数で【その他】は承認されました。

(事務局)それでは、この後、別室にて、臨時運営委員会を開催し、会長選出等のご協議を頂きますので、運営委員、監事の皆様におかれましては、事務局でご案内致しますので、お隣りの別室にご移動をお願い致します。臨時運営委員会開催の間、会員の皆様におかれましては、暫らくの間、休憩となりますが、11時55分にはご着席いただきますよう、お願いします。

—休憩(10分)—

(司会)それでは、このお時間をお借りしまして、皆様にぜひご覧いただきたいものがございます。新しくこの春にフォーラムのプロモーションビデオを作成致しましたので、3分少々ですが、前方のスクリーンにご注目ください。

—プロモーションビデオ放映(3分)—

6. 臨時運営委員会開催

(1) 新会長の選出

(細野会長)只今より、臨時運営委員会を開催致します。早速ですが、フォーラム規約第7条3項によりまして、新会長の選出を行いたいと存じます。新会長の選出にあたり、ご意見をお持ちの方、あるいは立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。…それでは、どなたかご推薦を頂けませんでしょうか。

(小倉副会長)はい。引き続き細野先生に会長をお願いしたいです。

(細野会長)有り難うございました。小倉先生より引き続き私、細野をご推薦頂きました。他にご推薦、ご意見等ありますでしょうか。…もしないようでしたら、私、細野でご承認頂けますでしょうか。(拍手)…有り難うございました。それでは、フォーラムの会長を引き続き私が担当させていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

(2) 副会長の指名

(細野会長)それでは、フォーラム規約第7条4項により、会長の私から副会長をご指名させて

いただきます。それでは、副会長には、東京農工大学名誉教授の小倉紀雄様、山形弁研究家のダニエル・カール様、語り部・大阪芸術大学教授の平野啓子様、青梅信用金庫理事長の森田昇様をお願いしたいと存じます。名誉会長、顧問、アドバイザーの皆様には引き続き、よろしくお願い致します。

次に、3つの活動部会の部会長についてですが、引き続き平野啓子様、渡邊勇様、新たに菟田雅弘様の3名の方をお願いしたいと存じますので、よろしくお願い致します。副部会長につきましては、引き続き山崎充哲様、小野木喜博様、新たに堤香苗様をお願いしたいと存じます。お三方にはどうぞよろしくお願い致します。

以上で臨時運営委員会を終了致します。このあと、皆様には総会会場の方へお移り頂ければと存じます。

7. 「多摩川の歌」合唱（三多摩青年合唱団）

（司会）皆様お待たせ致しました。それでは、美しい多摩川フォーラムの歌である「多摩川の歌」を、三多摩青年合唱団の歌声に乗せてお届けしたいと存じます。準備のため、いましばらくお待ちくださいませ。三多摩青年合唱団は、結成されてはや52年。『歌は生きる力』をモットーに、演奏活動を行っています。それでは、よろしくお願い致します。

…… 合 唱 ……

- (1) 多摩川の歌
- (2) 瑠璃色の地球

（司会）皆さん、有り難うございました。如何でしたでしょうか。うっとりするような「多摩川の歌」でしたね。フォーラムでは、引き続き、「多摩川の歌」の普及に努めて参りたいと存じます。それでは、以上をもちまして、「多摩川の歌」の合唱を終ります。改めて、三多摩青年合唱団の皆さんに盛大な拍手をお願い致します。

8. 臨時運営委員会の結果報告

（事務局）只今開催された臨時運営委員会におきまして、フォーラム規約第7条3項により、会長が選任されました。また、規約第7条4項により副会長も指名されました。その結果をご報告致します。会長には、引き続き中央大学大学院公共政策研究科委員長・教授の細野助博様、副会長には、引き続き東京農工大学名誉教授の小倉紀雄様、山形弁研究家のダニエル・カール様、語り部・大阪芸術大学教授の平野啓子様、青梅信用金庫理事長の森田昇様が就任されました。名誉会長、顧問、アドバイザーの皆様には引き続きよろしくお願い致します。

次に、3つの活動部会についてですが、フォーラム規約第14条3項および4項により、平野副会長、渡邊運営委員、菟田運営委員が各部会長に就任されました。部会長をサポートする副部会長には、山崎運営委員、小野木運営委員、堤運営委員が就任されました。

ここで、地域経済活性化部会長に新たに就任された藪田運営委員に一言、お願い致します。

(**藪田運営委員**)部会長に選任されました藪田です。先ほど、私の専攻を申し上げるのを忘れておりました。私は、公共政策、環境政策、観光政策という、幅広い分野で研究をしています。10数年前に、福岡県一級河川の遠賀川で、その流域の全市町村でどうやって連携を図っているのか、川をどうやって守っているのかを調査したことがあります。その時、子どもたちにアンケートしたところ、親から子どもたちに、川についてどのように教えられているかという、「川は危険である」「近づかないように」と言われていたとのことで、私は大変ショックを受けました。それもそうです。川の土手は道路になっていますし、川は少し危険な状態になっていて、親としては当然のことです。この多摩川に来まして、少し様子が違っているなと思いました。「多摩川夢の桜街道」もありますし、色々なイベントや、川と親しむことが沢山行われています。水辺の楽校の話もありました。そういった意味で、経済の面から、どうやって人々が、特に子どもたちが川に親しむことができるのか、微力ながら力を尽くしていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

(**事務局**)有り難うございました。次に、地域経済活性化副部会長に新たに就任された堤運営委員に一言、お願い致します。

(**堤運営委員**)ただいまご指名いただきました、株式会社キャリア・ママ代表取締役の堤と申します。このフォーラムが出来た当初から、民間の法人会員としてお手伝いさせていただいております。今年度、めでたく8周年ということで、幅広い民間組織の方々や一般の会員の方々に、拡がりのある活動になってきているのが感無量です。先ほどの合唱も感無量でございました。地域経済活性化というと、数字や景気の話の思い浮かべてしまうかもしれませんが、一番大事なことは、人としてどのように豊かに生きていくか、豊かに生きていく時に、その命を育む多摩川を、100年続くように、どのように事業運営していくかが、地域経済活性化部会の非常に重い、重要な任務だと思っております。微力ではございますが、部会長をサポートするべく、会員の方のご意見が今以上に発揮されるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

(**事務局**)有り難うございました。フォーラム会員一同、細野会長の元で、引き続きフォーラム活動に邁進していきたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。それでは、役員の皆様にエールの拍手をお願い致します。

9. 意見交換(細野会長)

(**事務局**)さて、意見交換のお時間になりましたが、本日は内容が盛り沢山の為、時間が大分押しております。誠に恐れ入りますが、ご意見のある方は、来月からスタートする各活動部会においてご発言をよろしくお願い致します。なお、各活動部会の日程は8ページをご確認くださいませ。

10. 会長総括（細野会長）

（司会）さて、早いもので、総会のお開きの時間が迫ってきております。ここで、細野会長に総括をお願いしたいと存じます。

（細野会長）ただいま、新執行部が発足致しました。9年目という新しいスタートを迎えます。先ほどの歌にありましたように、皆様の心をゆるく優しく結んで、美しい多摩川フォーラムはこれから始まります。事務局でも、沢山の事業を用意しておりますが、皆様のほうでも、なお、「こういう活動も必要だ」ということがありましたら、遠慮なく各部会で忌憚のないご意見を出していただきたいと思っております。何故こういう話をするかと言いますと、2020年に東京オリンピック・パラリンピックがあります。東京にどうやって人をお迎えするかについてのビジョンは、議論中です。この東京オリンピック・パラリンピックは、グローバル競争の中で東京がどうあるべきかを問われる非常に重要なイベントであることも確かです。その時、多摩はどのような形で、東京が持つビジョンに対して新たなプラス材料を付け加える事ができるか、都民の一人一人がその課題を受け取ることとなります。恐らく、2020年を境に新しい日本が始まると考えていただきたい。その時、美しい多摩川フォーラムは何が出来るのか、皆さんと、どんなことをしていこうか、それが、ひいては日本全体に広がっていくことでしょうし、世界の平和にも繋がっていくと私は思っています。それくらいの広いビジョンを持って、皆さんと一緒に9年目のスタートを切りたいと思っております。皆さんのご協力・ご支援をよろしくお願い致します。

11. 閉会挨拶（森田副会長）

（司会）有り難うございました。それでは閉会挨拶と致しまして、森田副会長にお願い致します。

（森田副会長）閉会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日は、美しい多摩川フォーラムの平成27年度総会を開催させていただきましたが、月末の土曜日という中で、皆様ご予定があったことと存じますが、ご出席をいただき、有り難うございました。各議案は全てご承認いただきましたので、新しい年度がスタートできます。有り難うございました。平成26年度も沢山の事業を行ってまいりました。新年度も色々アイデアを出して、新しい事業を進めていきたいと思っておりますが、ご都合の付く方は、ぜひ事業に参加していただきたいと思っております。

昨年12月に、国が「まち・ひと・しごと」の創生戦略について閣議決定しましたが、美しい多摩川フォーラムでは、平成19年7月から既に地域の活性化を目指して活動をし、丸8年が経ちます。先ほど会長からも話がありました通り、当フォーラムは9年目に入ります。これからも、皆さんと力を合わせて、地域の活性化のために活動してまいりたいと思っておりますので、ご協力をお願い致します。最後になりますが、ご出席をいただいた皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、閉会の言葉とさせていただきます。本日は有り難うございました。

12. 閉 会

(司会) 有り難うございました。皆様、本日は長時間に亘り、会議進行にご協力を頂きまして、誠に有り難うございました。これをもちまして、本日の美しい多摩川フォーラム・平成27年度総会を閉会とさせていただきます。有り難うございました。

以 上